

## 横浜市福祉サービス第三者評価 評価結果総括表

事業所名	都筑ひよこ保育園
報告書作成日	2007年4月13日 (評価に要した期間5か月)
評価機関	社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会 横浜生活あんしんセンター

### 評価方法

<p>自己評価方法</p> <p>(実施期間:2006年11月中旬 ~2006年12月15日)</p>	<p>非常勤職員も含む全職員に評価票を配布し自己評価に取り組んでもらい、園長・主任・保育士・看護師・栄養士からなるプロジェクトを立ち上げ、職員からあがってきた自己評価の内容を確認・検討の上、最終的に園長が全体を集約した。</p>
<p>評価調査員による評価方法</p> <p>(実施日:2007年2月15日)</p>	<p>評価調査員(2名)による現地視察、書類確認、面接ヒアリング調査(園長、乳児クラス担当保育士・幼児クラス担当保育士・看護師・栄養士など)を行った。</p>
<p>利用者家族アンケート実施方法</p> <p>(実施期間:2006年11月9日 ~2006年11月25日)</p>	<p>全園児120名の保護者(106世帯)を対象とし、事前に園長と評価機関(市社協あんしんセンター)の連名でアンケート依頼文を連絡帳に挟み込み、園から手渡して配布し、その後、2~3日後に本アンケートを同様に園から手渡し、約2週間回答期間を設け、匿名で直接評価機関に返送してもらった。</p>
<p>利用者本人調査方法</p> <p>(実施日:2007年2月1日)</p>	<p>園児121名のうち、予め園側にリストアップを依頼した中から10名(園児の8.3%)を対象に評価調査員2名が保育観察(満0~4歳児4名)、本人聞き取り調査(満5~6歳児6名)を行った。</p>

## 評価結果についての講評

### 〔施設の特徴〕

社会福祉法人あおばが運営する「都筑ひよこ保育園」は、発展著しい港北ニュータウンの一角にあります。周辺は閑静な住宅地で、徒歩圏に多数の公園のある緑豊かな環境です。この公園の多い周辺環境を活かし、屋外でのびのびと遊ぶ時間を大切にしているのは「都筑ひよこ保育園」の特色のひとつです。

前身のたまブラザーひよこ保育室（横浜保育室）から数えて二十余年の歴史を踏まえ、平成 15 年 4 月に当地に新たに開園するにあたり、「保護者と話し合いながら一人一人かけがえのない子どもとして見守り、社会の一員として、主体性を尊重して育む」という保育理念を掲げ、「遊ぶ」「食べる」「眠る」という子どもたちの生活を大切にした保育を実践しているほか、「子どもの権利ノート」（子どもの権利に関する冊子）が保育士全員に配布され、話し合いが行われる等、人権意識の高い園でもあります。

園は「みんなの大きなお家」として 1 階のランチルームや 2 階の年長児の保育室やテラス、子どもたちがのびのびと生活出来る広い空間を用意し、異年齢児の交流の場を確保すると共に、押入れ下段に意識的に作った空きスペースや、ランチルームのコタツコーナーなど、一人、または少人数で落ち着いて過ごせる空間も用意し、子どもがメリハリのついた一日が送れる環境設定を行っています。

また、建物に使用している建材や家具や玩具、使用する洗剤に至るまで、自然素材を多用しており、アレルギー性の疾患のある子どもたちだけに留まらず、一般の子どもにとっても過ごし易い環境となるような配慮がされています。

園の特徴のひとつである病後児保育は、平成 18 年度に全市から病後児を受け入れる「横浜市乳幼児健康支援一時預かり事業」から在園児のみを対象とする園内型に変更され、常勤職員の看護師の対応により、病後児はもとより、風邪気味であったり、疲れ気味の子どもでも医師の指示のもと、安心して預けることができるようになっていきます。

### 〔特に優れていると思われる点〕

#### 子どもの意思を尊重し「たっぷり遊ぶ」保育の実践

「保護者と話し合いながら一人一人かけがえのない子どもとして見守り、社会の一員として、主体性を尊重して育む」という園の理念を掲げ、「指導計画の視点、大切にしたいこと」を年齢ごとに明確にし、理念の実践にむけ十分な意見交換のもとに指導計画を作成しています。また、週案は、「変更点」や「アイデア」の欄を設け、より子どもの意見や意思を取り入れて子どもの自主性・主体性を発揮できるような指導計画になるよう工夫されています。

職員会議等で、折にふれて理念と保育の実際が合っているかどうか振り返りを行っています。「遊び」をテーマにした園内研修を行ったり、クラス会議や職員会議にも十分な時間をかけており、常に一人ひとりの子どもの様子について意見交換を行うなど、共通認識に立って子どもの自発的な気持ちを大切にした保育を実践しています。

例えば、自由遊びの時間に子どもたちの発想で始まった劇ごっこから、他クラスの園児を招待する創作劇に発展した例があります。演じるだけでなく、クラスの全員がその子なりの関わり方で自然に参加し、演じる子ども、観る子ども各々が楽しめるよう配慮するなど、子どもが主体となり、発想の豊かさを活かした保育が行われています。

子ども達は朝と午後に設けられた「自由遊び」の他、「主活動」として頻繁に組み込まれる公園・園庭遊びなどで自由に遊ぶ時間が、十分に確保されています。

どのクラスの子とも活発で園庭や散歩先の公園で大胆に遊び、乳児クラスでも園庭や公園のすべり台やアスレチックにも臆せず遊んでいます。一人ひとりに保育士が援助することで、難しい遊具でも子どもがやりたい事にはできるだけ取り組ませてあげたいという園の姿勢が実践されています。

保育士は子どもの様子をよく見ており、子ども同士でトラブルがあったり、集団の中ですぐになじめない子どもがいても、子どもの気持ちを汲んだ適切な声かけや対応をすることで子どもは気持ちを切り替え、遊びに参加することができています。また、活動の切れ目では、子どもが自分の意思で次の活動に移るのを待ち、タイミングを図って適切な声かけをしており、できる限り子どもが納得できるまで遊び込めるよう心がけています。

このように子ども達の意思を尊重し、子どもが納得できるまで“たっぷり遊ぶ”保育が実践されています。

### 食事を豊かに楽しむための取り組みと充実した給食の提供

食事を豊かに楽しむために様々な取り組みが行われています。各年齢ごとに食育年間計画が作成され、食への意欲の形成を図っています。具体的には3～5歳児がホットケーキや白玉だんごなどの調理を行う「クッキング保育」や乳児のトウモロコシの皮むき、枝豆もぎなど、子どもが食材に直に触れ、調理に参加する機会を設けています。また、バーベキュー大会や流しそうめん大会を行ったり、近所の魚屋さんに来てもらって、ブリをおろすところを子どもが観察する「魚の解体見学」など食事を楽しむ行事を行っています。「魚の解体見学」では魚に興味を持ち、生き物の命をいただくことを知る貴重な機会としています。このような実践を通して「友だちと一緒に食べるとおいしい、楽しい」と感じることを大切にしています。

おいしく、健康的な食事を提供するために、献立は和食中心とし、一汁三菜でなるべく薄味を心がけています。週に3回は魚を主菜にし、おやつも手作りにしています。旬の素材や地場野菜を利用し、「野菜や魚はできる限り当日に納品する」「調味料は無添加」「異物混入対策として3回チェック」など、衛生面や安全面にも配慮しています。

食を通した健康への取り組みは、給食の工夫だけに留まらず、看護師・栄養士・保育士の連携のもと健康診断と連動し栄養相談やアドバイスをすることもあります。また、子ども達の人気メニューのレシピは給食便りなどを通して、保護者へ知らせ、家庭でも作れるようにするなど保護者との連携も大切にしています。

家族アンケートでは「給食メニューの充実について」の項目では、「満足」のみで86.8%、「どちらかという満足」を加えると、98.1%となり、また、「給食を楽しんでいるか」でも「満足」のみで79.2%、「どちらかという満足」を加えると、92.4%となり給食に対する保護者の満足度の高さがうかがえました。

### 共通認識に立ち、より良い保育を目指す意識の高さ

月に1～2回は、主に土曜日を使いほぼ1日かけた職員会議を行っており、自分たちの保育の振り返りを行い、気になる様子が見られる子どもの情報を共有するようにしています。

保育園は「みんなのお家である」という考え方から、保育士は自分の担当クラス以外の子どもたちの様子も把握するよう努めており、子ども本人への聞き取り調査でもほとんどの子どもが担任以外の先生とも話しをしていると回答しています。

「子どもの権利ノート」(子ども達が自分の権利を知ることができるように作られた冊子)を保育士全員に配布したり、園独自の「NG用語集」(使ってはいけない用語集)が作成されており、意見表明権や人格を否定する言葉等について全職員が認識できるようになっています。また、各種マニュアルは一つのファイルにまとめ、全職員に配布されており、職員は折に触れて確認できるようになっています。

中堅・新人・非常勤などの職員に行ったヒアリングからは、基本方針や目標を絶えず念頭に置いて保育が実践されていることがうかがえました。また、「子ども一人ひとりを大切に」「子どもを1番に考える」などの思いが共通しており、どの職員も自信をもって日々の保育に取り組んでいる様子が見られました。

基本的には現場のことは現場で、クラスのことはクラスで判断をするという考えで、可能な限り現場の裁量に任せており、クラス懇談会の実施なども、各担任に任せています。また、職員から業務改善提案を受け付けており、栄養士の発案で給食に地場野菜を取り入れたり、保育士の意見に基づき保育の中身をさらに深く書けるよう週案の様式を変更するなど実際に園運営の改善に結びつけ、職員が主体になってより良い保育の実践をめざしています。

保育書や情報誌を定期購読し、常に職員会議等で話し合いを行い、子ども観を一致させながら理念や基本方針の理解を深めています。「絵本」をテーマにあげて意見交換をしたり、「遊び」をテーマに保育実践における遊びの指導について意見交換をするなどの勉強会が開かれています。また外部研修にも積極的に参加し、全国保育団体合同研究集会後には参加した約20名の職員が個々に報告書を作成し、自主的に感想を語る会を開くなど、自ら保育スキルの向上に努めています。

(特に工夫や改善などを期待したい点)

#### より積極的な地域子育て支援機能の発揮を

前身のひよこ保育室とは全く異なる地域で新規に認可保育所としてスタートしたことから、地元採用の職員や法人理事である地元の自治会の方などの力を借り、徐々に地域との交流を深めている段階です。しかし、そろそろ創立後の地固めの時期を脱しつつある時期と思われるので、現在は希望があれば応じている育児相談を定期的で開催する等、さらに踏み込んだ地域支援が期待されます。

現在、地域交流の一環として地域住民にひよこ祭りへの参加を呼びかけたり、隣接の加賀原地域ケアプラザでの地域高齢者との交流、区主催の保育園紹介への参加などが行われていますが、今後はより充実した子育て機能を発揮し育児に関する地域住民への勉強会や講習会の開催等、主体的かつ積極的な活動が望まれます。

#### 人材育成のための仕組みづくりを

職員個々の目標を設定していますが、個々の職員に対する目標設定の精査やスキルの自己評価がない事と、後述の達成目標の評価を図る仕組みの導入に至っていないのが惜しまれます。今後は個々の職員との個別面談を行うなどの方法を通して、目標設定の精査やスキルの自己評価が出来る仕組み作りが期待されます。

目標による管理制度の導入を検討中で、現在は資料等を収集中との事ですが、具体的な導入時期を明確にする事で、仕組み作りのステップがより着実なものになることと思います。

職員の意識は高く、内部研修等も実施されています。また、外部研修にも希望する職員が参加し、その報告書も作成されていますが、研修計画の見直しに反映するまでに至っていないのが惜しまれ

ます。また、研修の案内と参加についての記録の整理法にも、担当者を定める等の工夫の余地があります。これらを併せて改善し、より効果的な職員研修となるよう期待します。

#### 更なるサービスの質の向上に向けた記録の整備・活用を

必要とされる文書や記録は概ね作成、保管されていました。なお、現在は該当者がいませんが、過去に特別な課題を持つ子どもが在園していた時には、経過記録は作成されていたものの、個別指導計画が作成されておりましたので、今後、該当者が入園した場合には速やかに作成される事が望まれます。

職員による自己評価や感想、またボランティア受け入れ時のボランティア希望者の履歴等、オリジナルの書式で丁寧に書かれた書類や、情報収集に労力を要したことの分かる書類がいくつか見受けられました。時間や精力を傾けて作成された事がうかがわれる書類であるだけに、どのように活用されているのかがいまひとつ不明瞭なのが惜しまれます。今後はそれらを貴重な記録として留めるだけでなく、活用するための仕組み作りが期待されます。



書類や記録の中に、作成年月日や作成者の記録が残っていないものが散見されました。今後歴史を重ね、職員の異動等が行われた場合、これらの記録が残っていない事で、事実の確認に時間や労力が必要となる場面が出る事も考えられます。過去の事実の確認が容易な現時点において、既存の記録を点検すると共に、今後は記録作成時点で、年月日と作成者を明記する習慣をつける事は園運営の効率化の一助になることと思います。



# 評価機関による評価都筑ひよこ保育園



3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

## 評価領域 利用者本人の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「保護者と話し合いながら一人一人かけがえのない子どもとして見守り、社会の一員として、主体性を尊重して育む」という園の理念は利用者本人を尊重したものとなっている。</li> <li>・保育理念は各保育室など、目にふれやすい場所に掲示されるとともに、職員会議等で、折にふれて実際の保育と合っているかどうか振り返りを行っている。</li> <li>・保育計画は開園当初は市の保育計画をベースにし、園の基本方針や保育環境を念頭に置くとともに、地域性やこの園の特徴を考慮しながら園長と主任で作成したが、翌年からは、年度初めの職員会議で毎年見直し確認を行っている。</li> <li>・日常保育の場面では、自由遊びから始まった劇ごっこを他クラスの前で演じる劇に発展させるなど型にはまった指導ではなく、子どもの発想の豊かさを活かし、臨機応変に対応している。</li> <li>・指導計画は、年齢ごとの保育計画に基づき、作成されている。週案は保育の中身をより深く書けるように様式の見直しを行い、保護者も内容を閲覧できるように玄関の掲示板に全クラス分を掲示している。</li> <li>・言葉で言い表せない年齢の園児に対しても、確固たる人権のある事を認め、泣いている時はただあやすのではなく、なぜ泣いているのかまで考えていくなど言葉にならない訴えを汲み取るよう努めている。</li> </ul>
<p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園時には子どもを連れて保護者と面談し、子どもの特徴や注意点を書き込んだ「園児調査票」を記録として保管すると共に一時保育の園児についても、保育士が園児の状況を早く把握できるようにしている。</li> <li>・入園説明会で短縮保育についての説明を行っている。保護者の就労状況や家庭事情によって短縮保育の延長をしたり、早く切り上げたり臨機応変に対応している。年度途中の新入園児に対しては、入園前に一時的保育（園の様子に早く慣れるため）で受け入れ、保護者の不安の軽減を図ることもある。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画は、子どもの心身の状況がなかなか落ち着かない時は課題の設定を変更するなど、状況に合わせて柔軟に見直し等が行われている。その際は子どもの発達状況を把握している担任が会議の際に申し出て、他職員の意見や質問等も考慮したうえで、作成・変更を行っている。</li> </ul>
<p>- 3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃、採光、換気、エアコンによる室温管理、タープ（ポールや張綱を使って固定する日除け）やひさし型の日除けによる紫外線対策等、子どもが快適に過ごせるように、配慮されている。</li> <li>・0歳児保育の部屋には沐浴設備があり、中庭・駐車場を含むシャワー設備のある箇所は全て温水が出るようになっており、清潔に管理されている。</li> <li>・乳児保育室前の幅広の廊下や低い棚等を利用したコーナーの設置など少人数で落ち着いて遊べるようスペースが作られており、ランチルームの一角にあるこたつセットは異年齢で交流できるスペースにもなっている。また、年齢に応じて、眠っている子どもの妨げにならずに遊べるよう午睡と遊びのスペースを分ける等、子どもの発達状況に応じた環境が確保されている。</li> </ul>
<p>- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0～1歳児のための個別指導計画が作成され、日々の保育に活かされている。また、作成・見直しの際は保護者の同意を得ている。</li> <li>・特別な課題のある子どもも、あくまでも通常保育の中に入れて統合保育を行っているので、個別指導計画を独立した文書の形で作成してはいないが、職員会議では、いつも話し合いを行い、年度が変わっても統一した対応ができるように、児童票に注意事項をメモして進級時に申し送りをしている。</li> <li>・個々の児童票には家庭状況や子どもの特徴、留意事項などが記録されており、「保育園はみんなのおうちである」という考えから、保育士は自分の担当クラス以外の子どもたちの様子も把握するよう努めている。</li> <li>・年度末の3月中に担任の一部入れ替えを行い、子どもたちにも新担任に慣れてもらうと共に、保育士間の引き継ぎの精度も高めている。</li> </ul>

- 5 保育上、特に配慮を要する  
子どもへの取り組み




- ・特に配慮を要する子どもの情報については、保護者の同意を得て、職員会議で周知している。
- ・現在は障がいのある園児は在籍していないが、一時保育での受け入れを行っているほか、障がい児やアレルギー児の研修記録が保存されており、今後、配慮の必要な子どもの入園に備えられるようになっている。
- ・アレルギー疾患への対応研修を受講し、その内容を職員会議で共有し、個別に対応が必要な場合は、保護者の同意のもとに医療機関等と連携し、看護師等の職員が適切な処置をしている。
- ・除去食や代替食として、例えばマヨネーズを食べられない子どものために、ゆで大豆をすりおろして、見た目や味が似るように工夫し、マメネーズと命名するなど、他の園児の給食との差異を感じさせないように配慮している。また、給食以外にも建物の建材、使用する洗剤等を工夫し、アレルギーが起こりにくいような環境に配慮している。
- ・日本語でのコミュニケーションが難しい保護者については、通訳ができる知人を介して大事な情報を伝達したり、言葉では伝えにくい場合は、実物を見せたり、絵に描いたりして、ゆっくりわかりやすい言葉で要点を伝えるなどの工夫を行っている。


- 6 苦情解決体制





- ・第三者委員（他保育園の園長）や横浜市福祉調整委員会等の連絡先を明記した「苦情の解決に向けて」の掲示をし、玄関脇に意見箱も設置している。
- また、給食試食会の時やひよこ祭りなど行事の際にアンケートを実施し要望の把握に努めている。実際の要望や苦情の多くは口頭で受けて、園内で解決している。
- ・要望・苦情については、会議や話し合いを通じ、職員が発端から解決に至るまでの状況を共有し、園内での解決が不可能な場合の連絡先（他の苦情解決窓口）も確保すると共に、要望や苦情の詳細を記録し、今後の対応の一助となるようにしている。



評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育内容【遊び】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各保育室には低い棚があり、子どもが自分で取り出しやすい高さ に玩具が並んでいる。絵本棚も表紙が見えるように配置され、乳 児も自分で取り出すことができる。</li> <li>・園は木のぬくもりを大切にしており、玩具も木製が多く、フェル トや布、廃品などを利用した手作りおもちゃも多い。玩具は子ど もが遊び込めるようになったら少しずつ増やすなど、子どもの発 達や保育状況に合わせて適宜入れ替えを行っている。</li> <li>・家族アンケートの回答では、園の玩具や教材について「満足」「ど ちらか」と満足」を合わせたプラスの回答が 100%となり、満 足度が高いことがうかがえた。</li> <li>・園内の各所に木のベンチやウレタン製のやわらかい椅子が用意さ れるなど、子どもが一人で落ち着ける場が作られており、さらに ランチルームの一角にあるこたつが置かれたスペースは延長保 育の子どもが寛げる場ともなっている。</li> <li>・デイリープログラムは、原則午前が「主活動」、朝と午後が「自 由遊び」となっている。主活動でも公園などで自由に遊んでおり、 十分に遊び込める時間がある。また、「終わりにできるようにな ったら来てね。」など、子どもが自分の意思で活動をやめるタイ ミングを図れるように適切な声かけをし、できる限り子どもが納 得できるまで遊び込めるよう心がけている。</li> <li>・5 歳児が側転や馬とびをやりたいという意見を取り入れて運動会 の種目に盛り込んだり、シャベルをそり替わりにするなど型にと らわれない自由な発想で玩具を使ったり、子どもの自由な発想が 多く取り入れられている。</li> <li>・カブトムシやクワガタムシの世話や野菜の栽培に子どもが関わっ たり、散歩先の公園で落ち葉の上を歩いたり、どんぐりを拾うな ど自然と親しむ機会を多く取り入れている。</li> <li>・自由時間に子どもたちの発想で始まった劇ごっこから、他クラス の園児を招待しての創作劇に発展した事例がある。表に出て演じ たくない子どもはポスター作りや切符のもぎりをするなど、子ど も自身の発案による、バラエティに富んだ役割分担となり、参加 する子ども、観る子ども各々が楽しめる取り組みとなった。</li> <li>・保育士は穏やかな態度で接するよう心がけており、子どもを注意 する場面でも大声をあげる場面は見られず、子どもの目の高さにか がんで話をしている。</li> <li>・朝や夕方は異年齢で遊んでおり、散歩先の公園でも異年齢の子ど も同士が大型遊具で遊ぶ姿が見られた。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・散歩の機会をできるだけ多く取り入れ、年齢ごとに散歩の距離を延ばしている。子どもへのヒアリングからも「雨の日散歩もあるんだよ。傘はささないでカッパだけ着るんだよ」等の声も聞かれて、散歩を楽しんでいる様子がうかがえた。</li> <li>・散歩先の公園での活動にボール遊び、かけっこなどを積極的に取り入れている。乳児も園庭のすべり台やアスレチックにも臆せず取り組んでおり、発達段階に応じて様々な運動能力を高める遊びの環境を作っている。</li> </ul>
<p>- 1 保育内容【生活】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものペースに合わせて適切に食事の援助や声かけが行われている。</li> <li>・食育年間計画があり、「友だちと一緒に食べるとおいしい、楽しい。」と感じることを大切にしている。</li> <li>・当番が給食の配膳を行ったり、ホットケーキや白玉だんごなどの「クッキング保育」や、とうもろこしの皮むき、枝豆もぎをするなど、子どもが調理に参加する機会を設けている。</li> <li>・魚に興味を持ち、生き物の命をいただくことを知る機会として「魚の解体」を行う他、パーベキュー大会やそうめん大会など食に関する行事を実施している。</li> <li>・献立は和食中心とし、一汁三菜でなるべく薄味を心がけている。また、遠足で子どもたちが掘ったさつまいもを蒸かしいもにしたり、夏野菜カレーやカボチャサラダなど、旬の素材を使ったり、季節感のある献立や行事食も取り入れている。食器は安全性の高い磁器製を使用している。</li> <li>・家族アンケートでは給食についての項目で、「満足」のみで 80%を超え、「どちらかという満足」を加えると、90%以上となり、満足度の高さがうかがえた。</li> <li>・毎日、クラス毎に全体残食量が記録され、さらに、「手つかずの残り」を記載しており、定期的に給食会議を開催し、献立作成や調理の工夫に活かしている。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、献立表や給食だよりが配布され、給食だよりにには運動会時などのお弁当の作り方のアドバイスや人気レシピなどが記載されている。</li> <li>・懇談会時に給食試食会を設けており、アンケートも実施し、栄養士は、食事の大切さについて話をしている。</li> <li>・睡眠は子ども一人ひとりのペースを大切にし、早く目が覚めた乳児は眠っている子の妨げにならないように、別のコーナーで遊ばせている。0, 1, 2 歳児は約 15 分おきに保育士が子どもの様子を確認し、「プレスチェック表（呼吸確認表）」に記録している。</li> <li>・トイレトレーニングについては、園と保護者が意見交換して、その子どものペースに合わせて進めている。</li> <li>・園では早くオムツを外すことに重点を置いておらず、失敗した子どもにも心を傷つけないよう、保育士は対応に注意をしている。</li> </ul>
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理〔健康管理〕</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「園児健康管理マニュアル」「感染予防マニュアル」「与薬マニュアル」「応急処置マニュアル」「プール保育の管理」などの各種マニュアルに基づいた対応に努めている。看護師は日常、各保育室（特に0歳児）に入り、視診を行い、普段の子どもたちの遊ぶ様子を観察するようにしている。</li> <li>・児童票には、保護者から得た健康状態の情報が記載されている。健康診断時に提出される「予防接種調査票」についても、児童票に追記している。</li> <li>・健康診断の前に保護者に「予防接種調査票」を記載してもらい、自由記載欄に相談内容を記載できるようになっている。</li> <li>・健康診断結果は文書で保護者に伝え、結果に合わせて「食事の量を少しずつ増やして行きましょう」などのコメントも添えている。また、結果は健康診断票、歯科健診記録に記載され、必要に応じて職員は閲覧することができる。</li> <li>・「感染予防マニュアル」は平成 18 年 11 月に看護師が見直しを図ったもので、保育中に感染症の疑いのある症状を確認したときの対応について明記されている。</li> <li>・感染症が発生した場合には、感染症発生を掲示して、保護者に注意を促している。</li> <li>・煮出した麦茶が保育室に用意されており、喉が渴いた子どもはいつでも飲むことができる。</li> </ul>
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理〔衛生管理〕</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 18 年に看護師が見直しを図り、改訂した「衛生管理マニュアル・感染予防マニュアル」が整備されており、マニュアルの内容は職員会議で読み合わせを行っている。</li> <li>・マニュアルに基づき毎日清掃が行われている。「衛生管理チェックリスト」があり、各クラスのペーパータオル・手洗い石けん液・清掃状況などについて 1 週間ごとにチェックされている。</li> </ul>

- 2 健康管理・衛生管理・安全管理〔安全管理〕




- ・「事故防止マニュアル」「危機管理マニュアル（大規模地震対応マニュアル）」「防犯マニュアル・不審者対応マニュアル」などが整備され、「自主検査・点検項目表」をもとに安全管理対策を実施している。
- ・マニュアルは安全管理マニュアルや衛生管理マニュアル、業務マニュアルなどを1つのファイルにまとめ、非常勤職員も含め全職員に配布している。
- ・救急救命法の講習会には毎年職員が数人ずつ参加している。
- ・保護者への緊急時連絡票や関係機関連絡先（近隣公的施設、消防署、警察署等）、医療機関の連絡先などが作成され、事務所等に掲示・保管されている。
- ・避難訓練は毎月、想定時間や場所、曜日を変えて実施され、一時避難場所への避難訓練も実施されている。保育園の駐車場で非常食を食べる体験も取り入れている。
- ・子どものケガについては小さいケガでもその日のうちに、口頭で保護者に連絡・状況説明をし、「申し送り票」や「事故報告書」に記録している。事故については、職員会議で事故報告を行い、再発防止策が検討されている。
- ・出入口は事務所脇1か所に限定して、事務所で必ず来訪者の確認をしている。玄関は施錠（番号で解錠するキーレス錠）されており、インターホンで確認している。園舎周囲に人感センサーが設置されている。  
夕方の送迎時には駐車場に警備員を配置し、さらには、園内に防犯ブザーや非常ベルも設置されている。



- 3 人権の尊重






- ・「子どもの権利ノート」（子ども達が自分の権利を知ることができるように作られた冊子）を保育士全員に配布し、「意見表明権」について、職員会議でその重要性を確認している。
- ・園独自で、「NG用語集」（差別用語）が作成されており、人格を否定する言葉などについて、全職員が認識できるよう心がけている。
- ・保育室各所には、木のベンチやソファがあって子どもが落ちついて過ごせるコーナーとなっており、5歳児クラスにはロフト（屋根裏部屋のようにハシゴで登る2階スペース）があって、一人で過ごすこともできる。
- ・疲労がたまった子どもが元気を回復するために、かかりつけ医の指示のもとに園内型の病後児室を利用することもある。
- ・個人情報取り扱いガイドラインがあり、個人情報の取り扱いについては、「都筑ひよこ保育園における個人情報のリスト」が作成されている。児童票などを持ち出すときは「個人情報持ち出しチェック票」に記入しチェックしている。



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「虐待防止マニュアル」があり、虐待の定義について明示されている。</li> <li>・「虐待防止マニュアル」には児童相談所、区福祉保健センター等の関係機関や、虐待ホットライン、医療機関等が明示されており、虐待が疑われる場合には、児童相談所や区福祉保健センターなどの関係機関と連携できる体制が整っている。</li> <li>・園で使用する持ち物は男女共通で、男児もマフラーを編むなど、性別に関係なく好きな遊びをしている。</li> <li>・性差に限らず、不適切な言葉かけに気づいた場合は、職員会議などで話し合っている。</li> </ul>
<p>- 4 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に対しては、懇談会、園だより、ホームページなどで保育方針や保育内容について説明を行っている。また、運動会などの行事の折に、保護者に対するお知らせの中で、園の方針についてさらに具体的に説明している。</li> <li>・家族アンケートでも、保育園の基本理念や基本方針について、「よく知っている」と、「まあ知っている」を合わせると84.9%になり、そのうち95.6%の保護者が「共感できる」「まあ共感できる」と回答している。</li> <li>・保育参加や運動会などの行事の後にアンケートを取り、保護者の意向や感想を把握している。保護者アンケートの結果は集計し、配布している。</li> <li>・全園児が連絡帳を活用しており、園での様子を具体的に伝えている。また、各保育室入口などに毎日の活動の様子を掲示している。</li> <li>・入園時と卒園前には全員に個別面談を行っている。それ以外でも希望すれば、随時面談を行っており、個別面談の記録は「個人面談記録」としてファイルされている。</li> <li>・相談は、一時保育室など他人に聞かれる心配のない場所で個別に対応し、相談内容によっては、園長へ報告し、園長が対応したり、職員会議で検討している。</li> <li>・年に4回懇談会を実施し、そのうち1回は給食試食会を行っている。(5歳児クラスはお泊り保育の前にも実施。)</li> <li>・毎月、園だより(ひよこだより)やクラスだより、給食便り、病後児室便りが発行され、園だより・クラスだよりには保育の具体的なエピソードが記載されている。</li> <li>・保育参観・保育参加は随時可能であり、保育参加については「保育園でゆっくりお子さんと過ごす一日をお誕生日プレゼントにしませんか」と呼びかけている。</li> <li>・「卒園を祝う会」「お祝いパーティー」は5歳児の保護者有志により行われている。</li> </ul>

- |  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 保護者会設立に向けては、平成 16 年に保護者有志による保護者会設立メンバーからの園への申し立てがあり、園からも設立に向けての意見を文書で出し機運作りを行ったが、保護者の意見がまとまらず設立には至らなかった。</li></ul> |
|--|--|

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設立してまだ日が浅いこともあり、地域に向けての相談事業が定期的に行われたり、地域住民向けの研修や講習が開かれるまでには至っていないが、ひよこ祭りで育児相談コーナーを設けたり、毎年区の保育園紹介イベントに参加している。</li> <li>・ 園庭開放や一時保育を行い、一時保育では障がいのある子どもの受け入れも行っている。</li> <li>・ 地元自治会役員2名が法人役員に就任しており、地域住民である給食調理員やパート職員と共に、地域との連携の役割も担っている。</li> <li>・ 地域の子育て支援ニーズについては、職員会議で話し合いが行われている。</li> </ul>
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的な育児相談の日程を設けるには至っていないが、地域住民からの相談があれば随時応じる体制は確保している。</li> <li>・ 区福祉保健センターをはじめ、児童相談所など必要な関係機関や地域団体等の連絡先を明記したリストが作成されているが、具体的な関わり方のマニュアル作成には至っていないことが惜しまれる。</li> <li>・ 関係機関・団体等との交渉窓口は園長であり、特に都筑区福祉保健センターとは日常的に連絡を取り合っている。</li> </ul>

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひよこまつりは、卒園生や地域住民にポスター・招待状で参加を呼びかけており、地域交流の場ともなっている。</li> <li>・隣接の加賀原地域ケアプラザが実施する行事の際に駐車場やもちつき道具のうす・きねを貸し出している。また、園敷地の一部を地域のゴミ集積場として提供している。</li> <li>・地域行事のポスターやチラシを掲示板に貼ったり、自由に持ち帰れるように玄関ホールに置いたりしている。</li> <li>・保育見学や地域探検などの授業の一環として、近隣小学校の生徒を受け入れている。</li> <li>・公園で遊ぶ時に、気がいたらゴミを拾ったりすることで、子どもたちの環境に対する意識を高めると共に、地域活動の一端に参加している。</li> </ul>
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の独自のホームページを作成し、「いつでも」「誰でも」、園の情報を閲覧できるようにすると共に、園の詳細についての質問があった際には、オープンかつ丁寧に説明を行っている。</li> <li>・入園希望者からの相談電話があった折には、見学を勧めている。見学日という制限を設けず、保育に差し支えない限り、快く見学希望に応じている。</li> </ul>
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアや実習生の受け入れマニュアルが作成され、受け入れ前には職員や利用者に基本的な考え方や方針を説明している。</li> <li>・ボランティア受け入れと育成の担当者は主任であり、受け入れ時の記録はあるが、ボランティアの感想や意見が園運営に反映されるまでには至っていないことが惜しまれる。</li> <li>・実習生の希望を優先して部分実習や全日実習を取り入れプログラムを策定し、より効果的な実習となるように配慮しており、実習終了時に実習生と職員との意見交換の機会を設けている。</li> </ul>






評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修内容に応じ、適切と考えられる職員を調整・参加させたり、研修についての要望をいつでも受け付けるなど、人材育成の基本的な考え方があり、研修計画は作成されているものの、具体的な人材育成計画を策定する（個々の職員に期待される役割や育成方法等の明文化）までには至っていないことが惜まれる。</li> <li>・職員個々の目標を設定しているが、達成状況の評価を図るしくみを導入するまでには至っていない。現在、目標による管理制度の導入に向けて資料等を集め、検討を行っている。</li> <li>・内部研修は「遊び」「絵本」「文字」などをテーマに、グループで本を読みあってまとめるなどの研修が行われており、非常勤職員にも参加の機会を設けている。</li> <li>・外部研修は事務員も含め、職員は積極的に受講している。研修報告書は、感想だけでなく、今後どのように保育に活かしたいのかについても記載されている。</li> <li>・外部研修の報告書を作成し、職員会議で報告しているものの、研修成果を評価し、研修計画の見直しに反映するしくみを確立するまでには至っていないことが惜まれる。</li> <li>・非常勤職員への指導は主に園長が行っている。非常勤と常勤職員は午睡時間などにコミュニケーションをとっており、それぞれの立場からの気付きを話し合うこともある。</li> </ul>
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議で気になる子どもへの援助のしかたについて検討するなど、常にサービスの見直しは行っているが、個々のスキルに対する自己評価を行うまでには至っていないことが惜まれる。</li> <li>・「絵本」をテーマとして意見交換をしたり、「遊び」をテーマに保育実践における遊びの指導について意見交換をするなどの勉強会が開かれている。</li> <li>・外部の講師から描画についての講演を聞いたり、他園の保育士から保育についてのアドバイスを受けたりしている。</li> </ul>

### - 3 職員のモチベーションの維持



- ・給与・昇給基準や行事などの業務分担表はあるが、園として経験・能力や習熟度に応じた役割を期待水準として明文化するまでには至っていないことが惜まれる。
- ・基本的には現場のことは現場で、クラスのことはクラスで判断をするという考えで、例えばクラス懇談会の実施など、可能な限り保育現場の裁量にまかせている。園長が最終責任を負うための報告・連絡・相談を徹底することを随時伝えている。
- ・職員から業務改善提案を受け付けており、実際に園運営の改善(例えば、栄養士の発案を取り入れた給食食材としての地場野菜の採用、保育士の意見に基づいた週案様式を変更など)に結びつけている。
- ・職員への面接は行っていないが、職員個々に次年度の担任についてのアンケートを取り、反映している。希望通りにできなかった職員には個別に理由を伝えている。

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園独自の倫理規定や管理規定（都筑ひよこ保育園職員心構え）は入職時に各職員に配布されており、全国保育士倫理綱領と共に、読みあわせを行っている。</li> <li>・決算書・予算書・事業報告書・事業計画書など、経営・運営の情報は公開され、必要に応じて、職員会議で説明されている。</li> <li>・コンポスト（自然的なリサイクルのための方法や道具）や生ゴミ処理機で給食の残りや、野菜くずを肥料にして園庭で使用するなど日常におけるリサイクルやごみ減量イベントの実施等、環境に配慮した運営が行われているものの、環境配慮の考え方が施設の方針や目標の中に位置づけられるに至っていないことが惜まれる。</li> </ul>
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入職時に職員には基本方針を説明しており、保育理念が各保育室等、目にふれやすい場所に掲示されており、職員会議や話し合いの都度、保育理念・方針と日常保育、行事等の実際が合っているかどうかの振り返りを行っている。</li> <li>・病後児保育室を園内型に移行するなど、サービス内容の変更や施設設備の購入・設置などについては職員会議を経て決定し、保護者にも文書等で説明し同意を得ている。</li> <li>・主任は「主任保育士講座」などの外部研修を受講しており、園長会や経営懇談会などに園長とともに参加することもある。</li> </ul>
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営面での重要な改善課題については、職員全体で共有し、園全体の取り組みとしている。また、園長は無認可保育園（横浜保育室）での長年にわたる経験を運営にも活かしている。</li> <li>・最新の横浜市や区の動向などについては、職員に周知するとともに園のホームページ上にも掲載し保護者等の理解も図っている。</li> <li>・前年度までの反省点や福祉を取り巻く現状を踏まえ、策定された中長期計画がある。</li> <li>・開園４年目であり、現在は具体的な後継者育成策は立てられていないが、開園当初から勤めている職員をリーダーとして育成していくことを念頭に置き、今後はさらにリーダーの固定化を図り、権限委譲を行うなど育成とモチベーションのアップに努めていく意向である。</li> </ul>

# 家族アンケート取りまとめシート都筑ひよこ保育園

## 結果の特徴

### 【調査対象】

都筑ひよこ保育園の全利用（園児）120名に対する保護者106家族にアンケートを実施した。

### 【調査方法】

まず、事前に都筑ひよこ保育園と評価機関の連名のアンケート依頼文を連絡帳に挟み込んでもらい、その2～3日後にアンケートを依頼文と同じ方法で手渡してもらった。アンケートは約2週間の回答期間（平成18年11月9日～11月25日）を設け、直接評価機関に返送してもらった。

### 【回答があった利用者及び回答者の概要】

利用者総数 / 120名  
 調査対象総数 / 106家族・保護者  
 有効回答数 / 53通  
 保護者(世帯)総数に対する回答者割合(%) / 50.0%

### 【回答があった利用者の内訳】

回答者のクラス	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
	20.8%	17.0%	13.2%	15.1%	15.1%	18.9%	0.0%

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になる。)

### 【利用者家族アンケート全体のコメント】

「総合の満足度」では、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせたプラスの回答が94.4%になり、積極的な満足である「満足」のみでも、60%を超えた。また、満足度をたずねた全37項目のうち、約半数にあたる18項目で「満足」「どちらかといえば満足」を合わせたプラスの回答が90%を超え（内8項目は95%以上）、さらに「満足」のみで60%を超えた項目も13項目（内6項目は70%以上）となり、満足度が高い結果となった。

項目別では、「遊び」についての5つの質問項目すべてでプラスの回答が90%を超え、「園のおもちゃや教材について」では100%となった。また、「給食のメニューの充実」（「満足」のみで86.8%、「満足」+「どちらかといえば満足」が98.1%）、「お子さんが給食を楽しんでいるか」（79.2%、92.4%）など給食についての2項目では、「満足」のみで80%前後となり、行事食や無農薬、無添加など食材にこだわった給食が保護者に好評であることがうかがえた。「昼寝や休憩が状況に応じて対応されているか」（66.0%、92.4%）と合わせ、「遊ぶ・食べる・眠る」の生活を大切にしている園の保育姿勢が保護者に支持されている様子が観られた。

また、「落ち着いて過ごせる雰囲気」（98.1%）や「保育園生活を楽しんでいるか」（96.3%）、「園舎や園庭などの施設」などでもプラスの回答が95%前後となり、個別の記述でも「子どもがのびのび育っている」「あたたかな施設」「アットホームな環境」などの声が聴かれた。

一方で「不満」や「どちらかといえば不満」の回答が10%を超えた項目は「保育中のケガへの説明や対応」（18.9%）「不満や要望を気軽に言えるか」（15.1%）「保育や行事に保護者の要望が活かされているか」（13.2%）「送り迎えの際のお子さんの説明」（13.2%）など保護者への説明や意見の汲み取りに関わる項目が多く見られた。また、「外部からの不審者侵入に対する備え」や「衛生管理、感染症対策」などでも「不満」や「どちらかといえば不満」の回答が15%を前後に達した。

園の保育目標や保育方針については、回答者の84.9%が「よく知っている」「まあ知っている」と回答し、その内の95.6%が「共感できる」「まあ共感できる」と答えており、保育方針が一定の理解を得ていることがうかがえた。個別の意見でも、「方針が良い」などの声が複数あがっていた。

## 調査結果

### 保育園の基本理念や基本方針について

(%は小数第1位までの表示とし、合計の小数第1位を四捨五入すると100%にな

あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか。	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	
	(人)	12	33	4	4	0	0
	(%)	22.6%	62.3%	7.5%	7.5%	0.0%	0.0%



あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。	共感できる	まあ共感できる	どちらともいえない	あまり共感できない	共感できない	無回答	
	(人)	29	15	2	0	0	0
	(%)	63.0%	32.6%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%

### 保育園のサービス内容について

#### 問2 入園する時の状況について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	35	10	2	0	5	1
	66.0%	18.9%	3.8%	0.0%	9.4%	1.9%
	その他：・見学していない(2件) ・分からない ・開設時のため見学なかった(2件)					
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	25	21	2	2	2	1
	47.2%	39.6%	3.8%	3.8%	3.8%	1.9%
	その他：・分からない					
入園時の面接については	24	19	1	1	7	1
	45.3%	35.8%	1.9%	1.9%	13.2%	1.9%
	その他：・特になかった(4件) ・覚えていない(2件)					

【都筑ひよこ保育園】

お子さんの様子や育成歴などを聞く対応には	28	22	1	0	1	1
	52.8%	41.5%	1.9%	0.0%	1.9%	1.9%
	その他：・覚えていない ・子どもの変化を教えてくれる(どちらかといえば満足に )					
園の目標や方針についての説明には	20	25	1	0	6	1
	37.7%	47.2%	1.9%	0.0%	11.3%	1.9%
	その他：・聞いたことがない ・覚えていない(3件) ・特になかった					
保育園での1日の過ごし方についての説明には	22	25	3	0	2	1
	41.5%	47.2%	5.7%	0.0%	3.8%	1.9%
	その他：・特に受けていない。パンフレットのみだった ・覚えていない					
入園後に食い違いがなかったかなども含め、費用やきまりに関する説明について	24	24	2	1	2	0
	45.3%	45.3%	3.8%	1.9%	3.8%	0.0%
	その他：・文章でもらって分からないところは事務所で聞いている ・覚えていない					

### 問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	27	22	2	1	1	0
	50.9%	41.5%	3.8%	1.9%	1.9%	0.0%
	その他：・予定表と違うところもあり、働く者にとっては困ることもある ・開設時より増えて満足(満足に )					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	20	20	7	0	6	0
	37.7%	37.7%	13.2%	0.0%	11.3%	0.0%
	その他：・よく分からない(3件) ・どちらとも言えない ・要望以上に対応している(満足に ) ・まだ、参加はしていないが、お便りを見る限りでは活かされていると思う ・保護者の要望をさらに聞き入れてほしい					

【都筑ひよこ保育園】

#### 問4 日常の保育内容について

##### 「遊び」について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
園の遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	38	13	2	0	0	0
	71.7%	24.5%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	38	15	0	0	0	0
	71.7%	28.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	42	8	2	0	1	0
	79.2%	15.1%	3.8%	0.0%	1.9%	0.0%
その他:・入園間もないので分からない						
遊びを通じた友だちとの関わりや、保育士との関係などについては	33	17	2	0	1	0
	62.3%	32.1%	3.8%	0.0%	1.9%	0.0%
その他:・良く知らない						
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	27	21	2	0	3	0
	50.9%	39.6%	3.8%	0.0%	5.7%	0.0%
その他:・良く知らない ・取り組みをしていると思ったことはないが不満を感じない						

##### 「生活」について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
給食のメニューの充実については	46	6	0	1	0	0
	86.8%	11.3%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	42	7	0	0	3	1
	79.2%	13.2%	0.0%	0.0%	5.7%	1.9%
その他:・知らない ・子どもは、席を好きな人と自由に座れることに喜びを感じている(どちらかといえは満足に) ・見たことがないので分からない ・まだ分からない						

【都筑ひよこ保育園】

昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	35	14	2	1	1	0
	66.0%	26.4%	3.8%	1.9%	1.9%	0.0%
その他：・知らない ・眠りにつくまで時間が掛かっているようだ(不満に )						
家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めるなど、園でのおむつはずしへの取り組みについては	25	11	4	0	10	3
	47.2%	20.8%	7.5%	0.0%	18.9%	5.7%
その他：・これからなので分からない(5件) ・入園時にははずれていた(2件) ・まだ分からない						
お子さんの体調への気配りについては	27	19	6	1	0	0
	50.9%	35.8%	11.3%	1.9%	0.0%	0.0%
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	20	18	7	3	4	1
	37.7%	34.0%	13.2%	5.7%	7.5%	1.9%
その他：・今は丁寧な対応が続いており満足している(どちらかといえば満足に ) ・けがをしたことがないので分からない(2件) ・先生によって違う						

#### 問5 保育園の快適さや安全対策などについて

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
園舎、園庭などの施設については	39	11	0	2	1	0
	73.6%	20.8%	0.0%	3.8%	1.9%	0.0%
その他：・園庭の木が伸びたら対処してほしい ・現在改善に着手している(どちらかといえば満足に )						
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	35	17	1	0	0	0
	66.0%	32.1%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%
外部からの不審者侵入に対する備えについては	17	23	4	4	5	0
	32.1%	43.4%	7.5%	7.5%	9.4%	0.0%
その他：・今は鍵が付けられているので安心している ・男性の保育士がいないのでやや不安(2件)						

【都筑ひよこ保育園】



衛生管理や感染症対策については	26	16	5	3	1	2
	49.1%	30.2%	9.4%	5.7%	1.9%	3.8%
	その他：・分からない					

## 問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	21	25	4	1	1	1
	39.6%	47.2%	7.5%	1.9%	1.9%	1.9%
	その他：・まだ、未参加なので分からない					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	37	15	1	0	0	0
	69.8%	28.3%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	31	21	0	0	1	0
	58.5%	39.6%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%
送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明については	24	20	4	3	2	0
	45.3%	37.7%	7.5%	5.7%	3.8%	0.0%
	その他：・先生によって異なる ・こちらから聞かなくてももっと説明してほしい(不満に ) ・ほとんどない					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	23	20	4	2	3	1
	43.4%	37.7%	7.5%	3.8%	5.7%	1.9%
	その他：・経験がないので分からない					
保護者からの相談事への対応には	20	23	5	1	2	2
	37.7%	43.4%	9.4%	1.9%	3.8%	3.8%
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	26	16	6	1	3	1
	49.1%	30.2%	11.3%	1.9%	5.7%	1.9%
	その他：・遅れたことがないので分からない(3件)					

【都筑ひよこ保育園】

## 問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	30	18	3	0	2	0
	56.6%	34.0%	5.7%	0.0%	3.8%	0.0%
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	34	17	2	0	0	0
	64.2%	32.1%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	23	10	1	2	10	7
	43.4%	18.9%	1.9%	3.8%	18.9%	13.2%
その他：・分からない(9件) ・知らない						
不満や要望を気軽に言えるかどうかについては	20	18	6	2	7	0
	37.7%	34.0%	11.3%	3.8%	13.2%	0.0%
その他：・分からない ・特に言った事がない ・先生によって異なる ・気軽にとまではいかない(どちらかといえは不満に )						
不満や要望への対応については	21	16	4	3	7	2
	39.6%	30.2%	7.5%	5.7%	13.2%	3.8%
その他：・分からない ・意見をいうと考えると言ってくれるが、結果に満足できるとは限らない ・訴えたことがない(2件) ・言う機会がない ・先生によって異なる ・特に言わない						

## 問8 保育園の総合的評価

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	無回答
総合満足度は	32	18	3	0	0
	60.4%	34.0%	5.7%	0.0%	0.0%

# 利用者本人調査取りまとめシート(都筑ひよこ保育)

## 結果の特徴

調査対象：園児 121 人のうち、園側に予めリストアップしていただいた 10 名(園児の 8.3%)を調査対象とした。〔1 歳児 1 人、2 歳児 2 人、3 歳児 1 人、5 歳児 3 人、6 歳児 3 人〕

項目	回答者年齢	人数	内 訳	園全体の人数
保 育 観 察	0～2 歳	3 人	男児 2 人、女児 1 人	42 人
	3～4 歳	1 人	男児 1 人	41 人
本人聴き取り調査	5～6 歳	6 人	男児 4 人・女児 2 人	38 人

### 【調査方法】

#### 〈保 育 観 察〉

調査員 2 名が 0～4 歳の 4 名を保育の現場で、施設側から提供された利用者情報シートを参考に遊び・食事・排泄・午睡等の保育状況を観察した。

#### 〈本人聴き取り調査〉

5～6 歳の 6 名を対象に、食事・遊び・排泄等について聴き取り調査を行った。食事については給食を共にしながら、また遊びなどについても活動中の子どもたちの脇で聴き取りを行い、より自然な形での意見聴取に配慮した。

### 【保育観察の結果】

#### 〈全体のコメント〉

調査当日は園庭での活動や公園への散歩が活動の中心であったが、どのクラスの子どもも活発で、さまざまな大型遊具やアスレチック、ボールあそび、砂あそびなど自分の好きな遊びを楽しんでいることがうかがえた。

遊んでいるときに遊具の取り合いでトラブルがあったり、集団の中ですぐになじめない子どもがいたり、また、公園の行き帰りに転んで泣いてしまう子どももいたが、いずれの場合も保育士が子どもの様子をよく見ており、すぐに気づいて適切に対応することで子どもは気持ちを切り替えることができ、満足な活動を楽しんでいたと思われる。

外遊びや公園での遊びのとき、保育士は危険のないよう、よく目を配っていること、また、「トイレに連れて行くからお願い」など保育士同士が声をかけあい、連携が良く取れていることがうかがえた。

- <遊び> 1歳児が保育園の園庭のアスレチックでも臆せず遊んだり、2、3歳児も公園の大型遊具で元気に遊ぶなど、どのクラスの子どもも活発に遊んでいる。また、公園では後から来た年長組の子どもに、2歳児クラスの子どもが駆け寄り、自分が発見したおもしろいことを教えたり、年長組の子どもが2歳児の手助けをするなど自然な形で異年齢交流が行われていた。
- <食事> 食事は乳児クラスも、幼児クラスもそれぞれの子どものペースで食事をしている。幼児クラスでは会話を楽しみながら食事をしており、おかわりをする子どももみられた。
- <排泄> 保育士が子どもの様子を見ながらオムツの取替えをしており、「おしっこでない？」とやさしく声をかけていた。公園などでも、子どもはいつでも自由にトイレに行きたいことを保育士に伝え、付き添ってもらいトイレに行っていた。
- <午睡> 3,4,5歳児は自分の好きなところに布団を敷いており、押入れの下やロフト部分の下を選んで眠る子どももいた。早く目覚めた子どもに対しても個別に保育士が対応している。午睡時に麦茶を用意し、いつでも水分を取れるように配慮している。午睡はそれぞれの子どものペースで眠りについており、早く目覚めても他の子どもの眠りを妨げることもなく、別のコーナーで好きな遊びを楽しんでいる。

#### [本人聴き取り調査の結果]

##### (全体のコメント)

質問項目別にみると「遊び」については全員が「楽しい」と回答し、食事についてもほとんどの子どもが満足していた。

「トイレ」については非該当・無回答の子どもも半数いたが、現在は自分でできる子どもに、年少児のときの様子を聞くと、やさしく対応してもらっていることがうかがえた。

熱が出たり、ケガをした時にはほとんどの子どもが「先生はやさしく対応してくれる」と答えている。

「職員」については、全員の子どもが「やさしい、一緒に遊ぶ」と答え、担任以外の保育士や園長先生とも話をしたり、一緒に遊んでいる様子がうかがえた。

##### [質問項目別の特徴]

- <遊び> 「保育園は楽しい」と全員の子どもが答えており、「ブロック」「ポケモンごっこ」「こおり鬼(鬼ごっこの一種)」などの好きな遊びをあげ、「雨の日散歩もあるんだよ」などと散歩も楽しみにしている様子がうかがえた。
- <食事> ほとんどの子どもが「食事は楽しい、おかわりができる」と答え、給食を楽しんでいる様子がうかがえた。また、「残せるか」という質問では「残してもいいんだよ」「残すときはボールに入れる」などの答えが聞かれた。

<排泄> トイレについては「おもらした時」のことを聴く質問など、子どもがやや答えにくいものもあり、あまり多くのコメントは得られなかったが、「行きたい時にはトイレに行ける」と答えている。午睡時も、保育士に伝えてからトイレに行く姿がみられた。

<清潔・着替え> 「汚れたら自分で着替える」と答えた子どもが多かった。調査時が真冬であったせいか、聞き取りの中では「シャワーを使う」という声はなかった。

<権利> ほとんどの子どもが友だちとけんかをした時などは、保育士がよく話を聞いてくれると答えている。また、呼称についてはどの子どもも「ちゃん」「くん」と呼ばれている。「呼び捨てにされることもある」と答えた子どもも若干いた。「昼寝をしたくない時や眠れないときはしなくてもいいことになっていますか」の質問に対し、半数の子どもが「いいえ。静かにしている。」(残りの子どもは不明)と答えている。調査当日、眠れない子どもも見られたが、保育士はその子どもの傍らにいて、時々小さい声で話しかけるなどの対応をしている。5歳児は2月より「午睡をしない日」を設けており、幾人かの子どもからは「お昼寝のない日の方が好き」などのコメントも聴かれた。

<職員対応> 担任の先生は「やさしい」と全員の子子どもが答え、担任以外の保育士や園長先生とも「お話ししたり、遊んだりする」とほとんどの子どもが答えている。

## 事業者からの意見(コメント)シート

勧められるまま気軽に受審した第三者評価でしたが、結果的に園全体に「今以上によい保育園にしよう」という気運を満たしてくれました。平成15年4月1日の創設以来、「子どもが安心して楽しく過ごせる保育園づくり」を最優先し、時には職員間でぶつかり合い、暗雲垂れ込めた事もありながら、いつも「子どものことを第1に」という原点に立ち返って乗り越えてきました。

評価結果から概ね保護者に保育園を理解していただけていることがわかって元気が出ました。

評価機関からの改善提案事項については、異議なく、今後の羅針盤として傾聴し、全職員間で論議しながら、計画を立てて具体的に取り組みます。

保育所に求められる機能が多様化・複雑化し、地域への支援が必須である今日、保育の専門家として個々の保育士の力量を高めると同時に、保育者集団としてのチームプレーも重要であることを肝に銘じています。

今回、初めての体験ながら職員は楽しく、興味深く取り組みました。「保育で大切なことは何か」絶えず問い掛けながら、この経験を保護者とのパートナーシップ構築に生かします。

元気いっぱい、やんちゃな子ども達いっぱいの当園で、調査して下さった評価調査員の皆様に感謝しております。